



西小だより

山形市立西小学校
令和7年3月12日
校長 小林 聡

【学校教育目標】未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成

椿のつぼみがふくらみ、小鳥たちの楽しげなきえずりが聴こえるようになりました。もうすぐ春、巣立ちの時です。

今年度の卒業生74人は、前向きで仲が良く、下級生にやさしいすてきな子どもたちです。これから中学校に進み、大人になっていく過程にはいろいろなことが待っていることでしょう。思い通りにいかないことも、周りの人がよく見えてしまうことも、友達と意見がぶつかることもあるかも知れません。誰もが通ってきた少しほろ苦い道ですが、そんな時は周りの力を借りて、一步一步自分を励ましながらかんでいってほしいと願っています。

「あの空」に願いを込めて

昨年、縁あってアルケミストという二人組ユニットの歌を生で聴く機会がありました。

卒業生にとって、この曲に込められた思いが未来を生きる勇気につながることを願い、あおぞら学年みんなへの応援歌として贈ります。

あの空

がんばれ 聞こえていた
あの日も どんな時も
僕にもできるはずさ きつと
がんばれ がんばれ
友達とみんな
見上げた空の下で
今はまだ届かない
大きな夢を飛ばそう
未来の僕たちが
夢をなくしてしまわぬように
迷っても 行く先を
てらす光になるように
傷ついて涙がこぼれそうな日は
この空を見上げて 思い出そう
強く握った手の温もりを
鳥たちが羽ばたいて
乗せてった夢を
つまずき 転んでも
見ててね 負けないから
何度でも立ち上がって歩くよ
何度も 何度でも

「あの空」は、とある小学校の創立80周年記念行事のために作られました。2Bの鉛筆で子どもが書いた「がんばれ」という字を見ながら、僕たちは子どもたちの未来に「がんばれ」を飛ばす歌を作りたいと考えました。どんなにいい子でいても必ず挫折はやってきます。でも、大丈夫。挫折に負けないように。あきらめないように。夢をなくしてしまわないように。心の中に「がんばれ」のタイムカプセルを埋めよう。そして、いつか挫折がやってきた時、そのタイムカプセルをそっと開けてほしい。

「あの空」は子どもたちの未来に向けた歌でもありますが、同時に大人である僕らの願いでもありました。
(アルバム「あの空」より一部抜粋)

～ あおぞら学年 から かがやき学年 へ～

「児童会のカギ」と「6年生の思い」を引き継ぐ

2月13日、「笑顔花咲く 楽しいけやき児童会」を目標に掲げ、1年間先頭に立って児童会活動を牽引してきた6年生から、次のリーダーである5年生への引継ぎ式を行いました。委員会ファイル、代々受け継がれてきた「児童会のカギ」、そして活動にかける思いが、6年委員長から5年新委員長へと引き継がれました。6年生の、常に児童会目標に照らして活動のねらいや方法を吟味し、相手の立場を考えて活動し、ふり返る姿は下級生のよい手本でした。そして、それを引き継ぐ5年生にも、一人一人の真剣さと学年の一体感が増してきました。



6年生からはこれまでがんばってきた誇りと感謝が、5年生からはいよいよ自分たちの番だという覚悟と決意が表れた有意義な時間となりました。

ありがとう 大好きな6年生 <六年生を送る会>

これまで、5年生を中心として様々な準備を進めるうちに「自分たちがこの会を創っていくんだ。」「6年生との思い出をふり返り、感謝の気持ちを表すんだ。」という思いがどんどん高まっていきました。どの学年の子も、この日を心待ちにしていました。

今年度の「六年生を送る会」は、1年生と手をつないで入場する6年生をけやきっ子班の2年生が一人一人紹介して始まりました。

5年生代表の堂々としたあいさつ、創意工夫を凝らした劇「6年生の記憶を取り戻そう」、西小〇×クイズでは5、6年生代表による20m競走や二重跳び対決もありました。各学年手作りの王冠にメダル、感謝の寄せ書きがプレゼントされ、6年生は何度もメッセージを読んだり、にっこり微笑んだり、思わず涙が出そうになったり、……これまでの温かいつながりとうれしかった思い出がよみがえった瞬間だったように思います。最後に、6年生からそれぞれの学年に温かくも力強いメッセージが贈られました。

1年間の集大成である「六年生を送る会」には、伝えたい気持ちがしっかり相手に伝わるようにと、子どもたちの知恵と工夫がいたるところにちりばめられていました。「子どもの力は本当にすごいな。」と感心しました。そして、やはりそれは6年生の日々のがんばりがあってこそのことだと、改めて感じました。大好きな6年生への感謝の気持ちが存分に表れたすばらしい会でした。

